

10月27日（日）

わたしの存在をだんだん意識するようになればなるほど、あなたは自分が進むべき道を見分けるのが楽になることに気づくだろう。

これは、わたしのそばで生きることの実際的な効用のひとつである。

この道の先には何があるのかと心配したり、“もしもあんなったら”とか、“こうなったときはどうすべきか”と思い悩むのはやめなさい。

それよりも、わたしと心を通い合わせることに集中しなさい。あなたが実際に選択地点に着いたときには、わたしがあなたにどちらの方角に進めばいいかを教えよう。

将来の計画や決定のことで頭がいっぱいで、今日選択しなければいけないことが見えなくなっている人はたくさんいる。彼らは無意識のうちに、ふだんの調子で対応してしまう。

こんなふうな生き方をしている人は、いつのまにか自分の生活がよどんだ活気のないものとなっているのに気づく。

彼らは日課となっている歩き慣れた道を、夢遊病のように歩

